

軍艦のゐない港や羊雲

山田真砂年

「稲」一月号「ヨウシユヤマゴボウ」二十五句より
澄んだ空に、鱗や波などの美しい模様を作る秋の雲。その塊の大きいものを羊雲といい、高積雲の仲間である。山口百恵さんの歌「いい日旅立ち」を思い出す。あの浜に、軍艦はない。平和な空間があつた。今、世界は戦争と隣り合っているような様相になりつつある。長閑な羊の群が、地上にも天上にも続くことを切に願う。